

集落活動センターの  
新たな生活支援サービスの提供モデル

～ 日本一の健康長寿県構想との連携 ～

地域福祉部

# 介護予防・日常生活支援総合事業（新しい総合事業）

- （従来の要支援者）
- 要支援認定を受けた者
- 基本チェックリスト該当者

## 介護予防・生活支援サービス事業

### 訪問型サービス

掃除、洗濯等の日常生活上の支援

### サービス基準のイメージ(例)

- 現行の訪問介護相当
- 多様なサービス

- ①訪問介護
- ②訪問型サービスA(緩和した基準によるサービス)
- ③訪問型サービスB(住民主体による支援)
- ④訪問型サービスC(短期集中予防サービス)
- ⑤訪問型サービスD(移動支援)

…保健・医療の専門職による居宅での相談指導等  
…移送前後の生活支援等

【単価】  
1ヶ月あたり(加算を除く)  
<週1回利用> 12,260円  
<週2回利用> 24,520円

①訪問型サービスA(緩和した基準によるサービス) ・管理者※ 専従1以上 ・訪問介護員等 常勤換算2.5以上 【資格要件:介護福祉士、介護職員初任者研修修了者】 ・サービス提供責任者 常勤の訪問介護員等のうち、利用者40人に1人以上※2 【資格要件:介護福祉士、実務者研修修了者、3年以上介護等の業務に従事した介護職員初任者研修修了者】 ※1 支障がない場合、他の職務、同一敷地内の他事業所等の職務に従事可能 ※2 一部非常勤職員も可能	②訪問型サービスB(住民主体による支援) ・管理者※ 専従1以上 ・従事者 必要数 【資格要件:介護福祉士、介護職員初任者研修修了者又は一定の研修受講者】 ・訪問事業責任者(仮称) 従業者のうち必要数 【資格要件:従業者に同じ】 ※ 支障がない場合、他の職務、同一敷地内の他事業所等の職務に従事可能	③訪問型サービスD(住民主体による支援) ・従事者 必要数 ・事業の運営に必要な広さを有する区画 ・必要な設備・備品
---	---	---

### 通所型サービス

機能訓練や集いの場等の日常生活上の支援

- 現行の通所介護相当
- 多様なサービス

- ①通所介護
- ②通所型サービスA(緩和した基準によるサービス)
- ③通所型サービスB(住民主体による支援)
- ④通所型サービスC(短期集中予防サービス)

### サービス基準のイメージ(例)

【単価】  
1ヶ月あたり(加算を除く)  
<要支援1> 21,150円  
<要支援2> 42,360円

①現行の通所介護相当 ・管理者※ 常勤・専従1以上 ・生活相談員 専従1以上 ・介護職員 ~15人 専従1以上 ・機能訓練指導員 1人以上 ※ 支障がない場合、他の職務、同一敷地内の他事業所等の職務に従事可能 ・食堂・機能訓練室(3㎡×利用定員以上) ・静養室・相談室・事務室 ・消火設備その他の非常災害に必要な設備 ・必要な他の設備・備品	②通所型サービスA(緩和した基準によるサービス) ・管理者※ 専従1以上 ・従事者 ~15人 専従1以上 利用者1人に必要数 ※ 支障がない場合、他の職務、同一敷地内の他事業所等の職務に従事可能	③通所型サービスB(住民主体による支援) ・従事者 必要数 ・サービスを提供するために必要な場所 (3㎡×利用定員以上) ・必要な設備・備品
---	---	--

### その他の生活支援サービス

- ①栄養改善を目的とした配食
- ②住民ボランティア等が行う見守り
- ③訪問型サービス、通所型サービスに準じる自立支援に資する生活支援(訪問型サービス、通所型サービスの一体的提供等)

…食材料費や調理にかかるコストは、利用者が負担

### 介護予防ケアマネジメント

第1号被保険者の全ての者

### 一般介護予防事業

- ①介護予防把握事業
- ②介護予防普及啓発事業
- ③地域介護予防活動支援事業 など

※ 上記はサービスの典型例として国のガイドライン案で示されたもの。市町村はこの例を踏まえて、地域の実情に応じたサービス内容を検討する。  
 ※ 現行のサービス相当以外の利用者負担(利用料)は、市町村がサービスの内容や時間等に応じて定める。

# 新しい生活支援サービスの提供モデル

現在集落活動センターの開設を検討している

## A地域

高齢者数：840人（65歳～74歳：360人、75歳以上：480人） 高齢単身世帯：140

人口：2,400人

世帯数：830

高齢化率：35%

要支援・要介護認定者数の推計	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
要支援 (うち新規認定)	32 (12)	33 (12)	33 (12)	33 (12)	34 (12)	34 (12)	34 (12)
要介護 (うち新規認定)	143 (30)	144 (30)	147 (30)	149 (31)	149 (31)	150 (31)	150 (31)

### 【地域の福祉サービス】

- 居宅介護サービス事業所 ・訪問介護(市町村社協及び民間事業所) ・通所介護(市町村社協及び民間事業所)
- あったかふれあいセンター(地域のNPO法人) 1か所、サテライト1か所

※H27以降の人数は、地域別推計人口に基づく  
A地域での要介護者等の出現率(約20%)による。

## 提供するサービス

- ① 新たに要支援状態になる高齢者を対象とした訪問型・通所型サービス
- ② 一人暮らし高齢者を対象とした配食サービス

その他、実施が考えられるサービス



市町村が設置する高齢者向け住宅  
の管理受託 など

### ① 訪問型・通所型サービス

#### ● サービスの内容と利用見込者数

	要支援高齢者	
	要支援1	要支援2
訪問型サービスA 掃除、洗濯、調理等の家事援助や入浴介助等	6人 週1回	6人 週2回
訪問型サービスB 買い物、ゴミ分別、ゴミ出し等の生活支援と見守り	週1回	週2回
通所型サービスA 運動機能向上、栄養改善、口腔機能向上の訓練等	週1回	週2回

#### ● 人員体制 常勤換算2.2人

年間収入見込 7,956千円 (各延936回利用)

【市町村委託(補助)】

- ・ 訪問型サービスA (@2,400円/回) 2,246千円
- ・ 訪問型サービスB (@1,200円/回) 1,123千円
- ・ 通所型サービスA (@4,900円/回) 4,587千円

年間支出見込 5,593千円

- ・ 人件費 4,400千円 (2,000千円×2.2人：地域おこし協力隊員の人件費)
- ・ 事務費・管理費等 1,193千円 (年間収入の15%)

年間収支見込額 2,363千円 ①

年間収入見込 2,970千円 (延4,368食)

- ・ 利用料 (@400円/食) 1,747千円
- ・ 市町村委託(補助) (@280円/食) 1,223千円

年間支出見込 1,922千円 (延4,368食)

- ・ 食材料費 (@200円/食) 874千円
- ・ 調理員報酬 (@200円/食) 874千円
- ・ 調理光熱水費 (@40円/食) 174千円

年間収支見込額 1,048千円 ②

### ② 配食サービス

- 利用見込者数 28人 (140人×20%)
- サービス実施回数 週3回
- 1食当たりの経費 680円

※ 経費は、県内の実施例等を参考に算定した。

#### ● 人員体制

調理 0.25×2人=0.5人役 (1人が1回2時間で14食調理)  
配達 訪問型サービスで対応

経費内訳	金額(円)
食材料費	200
調理員報酬	200
調理光熱水費	40
配達員報酬	200
配達燃料費等	40
合計	680

年間収支見込額 (①+②) = 3,411千円

A地域

人口	2,400
世帯数	830
高齢化率	35.0%

高齢者数	840
65~74歳	360
75歳~	480

認定者数の推計	H26.6	H27	H28	H29	H30	H31	H32
要支援 (うち新規認定)	32 (12)	33 (12)	33 (12)	33 (12)	34 (12)	34 (12)	34 (12)
要介護 (うち新規認定)	143 (30)	144 (30)	147 (30)	149 (31)	149 (31)	150 (31)	150 (31)

◆実施するサービス①

訪問・通所型サービス 利用者想定→	要支援高齢者		年間 延利用回数			年間収入			
	要支援1	要支援2	要支援1	要支援2	計	要支援1	要支援2	計	
	6人	6人							
訪問型サービスA	2,400円	週1回	週2回	312	624	936	748,800円	1,497,600円	2,246,400円
訪問型サービスB	1,200円	週1回	週2回	312	624	936	374,400円	748,800円	1,123,200円
通所型サービスA	4,900円	週1回	週2回	312	624	936	1,528,800円	3,057,600円	4,586,400円
計							2,652,000円	5,304,000円	7,956,000円

要支援1 週利用者数 (人)	月	火	水	木	金	土
訪問型サービスA	2		2			2
訪問型サービスB	2			2		2
通所型サービスA			3		3	

要支援2 週利用者数 (人)	月	火	水	木	金	土
訪問型サービスA	3		3	3		3
訪問型サービスB	3		3	3		3
通所型サービスA		6			6	

週利用者数 計 (人)	月	火	水	木	金	土
訪問型サービスA	5	-	5	3	-	5
訪問型サービスB	5	-	3	5	-	5
通所型サービスA	-	9	-	-	9	-

従業員延べ勤務時間及び 必要従業員数	月	火	水	木	金	土	計
訪問型サービスA 標準60分/回	450	-	450	270	-	450	1,620
訪問型サービスB 標準40分/回	300	-	180	300	-	300	1,080
通所型サービスA	-	1,200	-	-	1,200	-	2,400
合計(分)	750	1,200	630	570	1,200	750	5,100
必要従業員数	常勤換算1人=2,400分						2.2人

※訪問型サービスの勤務時間は、移動時間等を考慮し標準的なサービス提供時間の1.5倍とする。  
※通所型サービス実施日は、従業員2.5名が勤務とする。

収支差額 A-B  
2,363,000円

1人当たり 2,000,000円

従業員人件費	4,400,000円
事務費・管理費等 収入の15%	1,193,000円
年間支出 B	5,593,000円

◆実施するサービス②

配食サービス 対象世帯: 高齢単身者世帯等 → A地区推計 140 × 利用見込率 20% = 28人 に週 3 回実施

年間配食数 4,368 × 1食当たり経費 680円 (内訳) = 年間収入① 2,970,240円 (内訳)

年間支出② 1,921,920円 (内訳) 収支差額①-② 1,048,320円

食材料費	200	873,600円	873,600円
調理員報酬	200	873,600円	873,600円
調理光熱水費	40	174,720円	174,720円
配達員報酬	200	873,600円	873,600円
配達燃料費等	40	174,720円	174,720円

1人が1回2時間で14食調理(@1,400円×2h×2人×3回/週×52週)

※経費は県内の実施例等を参考に算定した。

# 新しい生活支援サービスの提供モデル

現在集落活動センターの開設を検討している

## B地域

高齢者数：200人（65歳～74歳：50人、75歳以上：150人） 高齢単身世帯：60

人口：400人

世帯数：220

高齢化率：50%

要支援・要介護認定者数の推計	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
要支援 (うち新規認定)	13 (5)	13 (5)	12 (5)	12 (5)	12 (5)	11 (5)	11 (4)
要介護 (うち新規認定)	37 (10)	36 (10)	34 (10)	33 (9)	32 (9)	31 (9)	29 (8)

### 【地域の福祉サービス】

- 居宅介護サービス事業所 ・訪問介護（市町村社協） ・通所介護（市町村社協）
- あったかふれあいセンター（市町村社協） 1か所、サテイト3か所

※H27以降の人数は、地域別推計人口に基づく  
B地域での要介護者等の出現率（約20%）による。

## 提供するサービス

- ① 新たに要支援状態になる高齢者を対象とした訪問型・通所型サービス
- ② 一人暮らし高齢者等を対象とした配食サービス

その他、実施が考えられるサービス

市町村が設置する高齢者向け住宅  
の管理受託 など

### ① 訪問型・通所型サービス

#### ● サービスの内容と利用見込者数

	要支援高齢者	
	要支援1	要支援2
訪問型サービスA 掃除、洗濯、調理等の家事援助や入浴介助等	3人	2人
訪問型サービスB 買い物、ゴミ分別、ゴミ出し等の生活支援と見守り	週1回	週2回
通所型サービスA 運動機能向上、栄養改善、口腔機能向上の訓練等	週1回	週2回

#### ● 人員体制 常勤換算1.3人

年間収入見込 3,094千円（各延364回利用）

【市町村委託（補助）】

- ・ 訪問型サービスA（@2,400円/回） 874千円
- ・ 訪問型サービスB（@1,200円/回） 437千円
- ・ 通所型サービスA（@4,900円/回） 1,783千円

年間支出見込 3,064千円

- ・ 人件費 2,600千円（2,000千円×1.3人：地域おこし協力隊員の人件費）
- ・ 事務費・管理費等 464千円（年間収入の15%）

年間収支見込額 30千円 ①

### ② 配食サービス

- 利用見込者数 12人（60人×20%）
- サービス実施回数 週3回
- 1食当たりの経費 680円

※ 経費は、県内の実施例等を参考に算定した。

#### ● 人員体制

調理 0.2人役（1人が1回約2時間で12食調理）  
配達 訪問型サービスで対応

年間収入見込 1,273千円（延1,872食）

- ・ 利用料 (@400円/食) 749千円
- ・ 市町村委託（補助） (@280円/食) 524千円

年間支出見込 824千円（延1,872食）

- ・ 食材料費 (@200円/食) 374千円
- ・ 調理員報酬 (@200円/食) 375千円
- ・ 調理光熱水費 (@40円/食) 75千円

年間収支見込額 449千円 ②

経費内訳	金額(円)
食材料費	200
調理員報酬	200
調理光熱水費	40
配達員報酬	200
配膳施設費等	40
合計	680

年間収支見込額 (①+②) = 479千円

B地域

人口	400
世帯数	220
高齢化率	50.0%

高齢者数	200
65～74歳	50
75歳～	150

認定者数の推計	H26.6	H27	H28	H29	H30	H31	H32
要支援 (うち新規認定)	13 (5)	13 (5)	12 (5)	12 (5)	12 (5)	11 (5)	11 (4)
要介護 (うち新規認定)	37 (10)	36 (10)	34 (10)	33 (9)	32 (9)	31 (9)	29 (8)

◆実施するサービス①

訪問・通所型サービス	利用者想定→	要支援高齢者		年間 延利用回数			年間収入		
		要支援1	要支援2	要支援1	要支援2	計	要支援1	要支援2	計
訪問型サービスA	2,400円	週1回	週2回	156	208	364	374,400円	499,200円	873,600円
訪問型サービスB	1,200円	週1回	週2回	156	208	364	187,200円	249,600円	436,800円
通所型サービスA	4,900円	週1回	週2回	156	208	364	764,400円	1,019,200円	1,783,600円
計							1,326,000円	1,768,000円	3,094,000円 A

要支援1 週利用者数 (人)	月	火	水	木	金	土
訪問型サービスA	1		1			1
訪問型サービスB	1			1		1
通所型サービスA		3			3	

要支援2 週利用者数 (人)	月	火	水	木	金	土
訪問型サービスA	1		1	1		1
訪問型サービスB	1		1	1		1
通所型サービスA		2			2	

週利用者数 計 (人)	月	火	水	木	金	土
訪問型サービスA	2	-	2	1	-	2
訪問型サービスB	2	-	1	2	-	2
通所型サービスA	-	5	-	-	5	-

従業員延べ勤務時間及び

必要従業員数	月	火	水	木	金	土	計
訪問型サービスA 標準60分/回	180	-	180	90	-	180	630
訪問型サービスB 標準40分/回	120	-	60	120	-	120	420
通所型サービスA	-	960	-	-	960	-	1,920
合計(分)	300	960	240	210	960	300	2,970
必要従業員数	常勤換算1人=2,400分						1.3人

※訪問型サービスの勤務時間は、移動時間等を考慮し標準的なサービス提供時間の1.5倍とする。  
 ※通所型サービス実施日は、従業員2名が勤務とする。

収支差額 A-B

30,000円

1人当たり 2,000,000円  $\times$  従業員人件費 2,600,000円 + 事務費・管理費等 464,000円 = 年間支出 B 3,064,000円

収入の15%

◆実施するサービス②

配食サービス 対象世帯: 高齢単身者世帯等 → B地区推計 60 × 利用見込率 20% = 12人 に週 3回実施

年間配食数 1,872 × 1食当たり経費 680円 = 年間収入① 1,272,960円

年間支出② 823,680円

収支差額①-② 449,280円

食材料費	200	374,400円	374,400円
調理員報酬	200	374,400円	374,400円
調理光熱水費	40	74,880円	74,880円
配達員報酬	200	374,400円	374,400円
配達燃料費等	40	74,880円	74,880円

1人が1回約2時間で12食調理(1,400円×1.714h×1人×3回/週×52週)

訪問型サービスで対応

※経費は県内の実施例等を参考に算定した。